

調査結果の概要

1 令和7年の概況

～ 生産・出荷・在庫指数、いずれも前年より上昇 ～

○ 鉱工業指数は、生産・出荷・在庫いずれも前年を上回った〔生産 105.5（前年比 0.7%上昇）、出荷 101.7（前年比 0.9%上昇）、在庫 100.3（前年比 4.5%上昇）〕。

～四半期別（季節調整済指数）でみると～

- 生産指数は、令和7年Ⅲ期は前期を下回ったが、Ⅰ期からⅡ期とⅣ期は前期を上回った。
- 出荷指数は、令和7年Ⅲ期は前期を下回ったが、Ⅰ期からⅡ期とⅣ期は前期を上回った。
- 在庫指数は、令和7年Ⅲ期は前期を下回ったが、Ⅰ期からⅡ期とⅣ期は前期を上回った。

(1) 生産

- ・ 生産指数は、105.5(前年比 0.7%上昇)。3年ぶりに前年を上回った(図1)。
- ・ 業種別にみると、輸送機械工業、木材・木製品工業、プラスチック製品工業など6業種で上昇し、家具工業は横ばい、電子部品・デバイス工業、金属製品工業、窯業・土石製品工業など11業種で低下した(図2)。

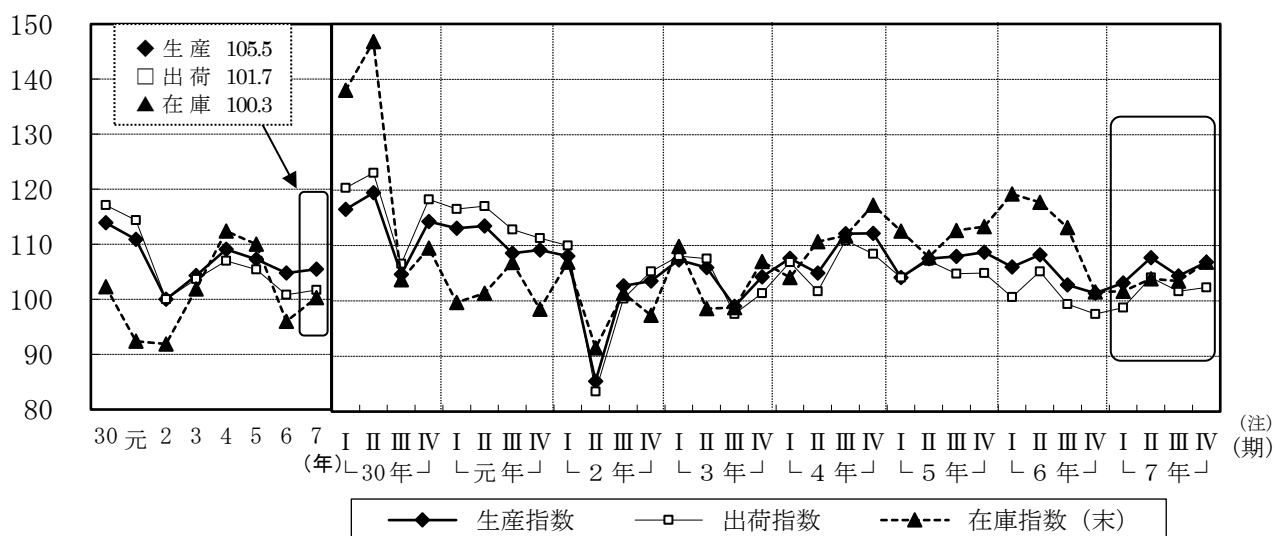
(2) 出荷

- ・ 出荷指数は、101.7(前年比 0.9%上昇)。3年ぶりに前年を上回った(図1)。
- ・ 業種別にみると、輸送機械工業、木材・木製品工業、繊維工業など8業種で上昇し、一般機械工業（総合）、鉄鋼業、金属製品工業など10業種で低下した。

(3) 在庫（期末）

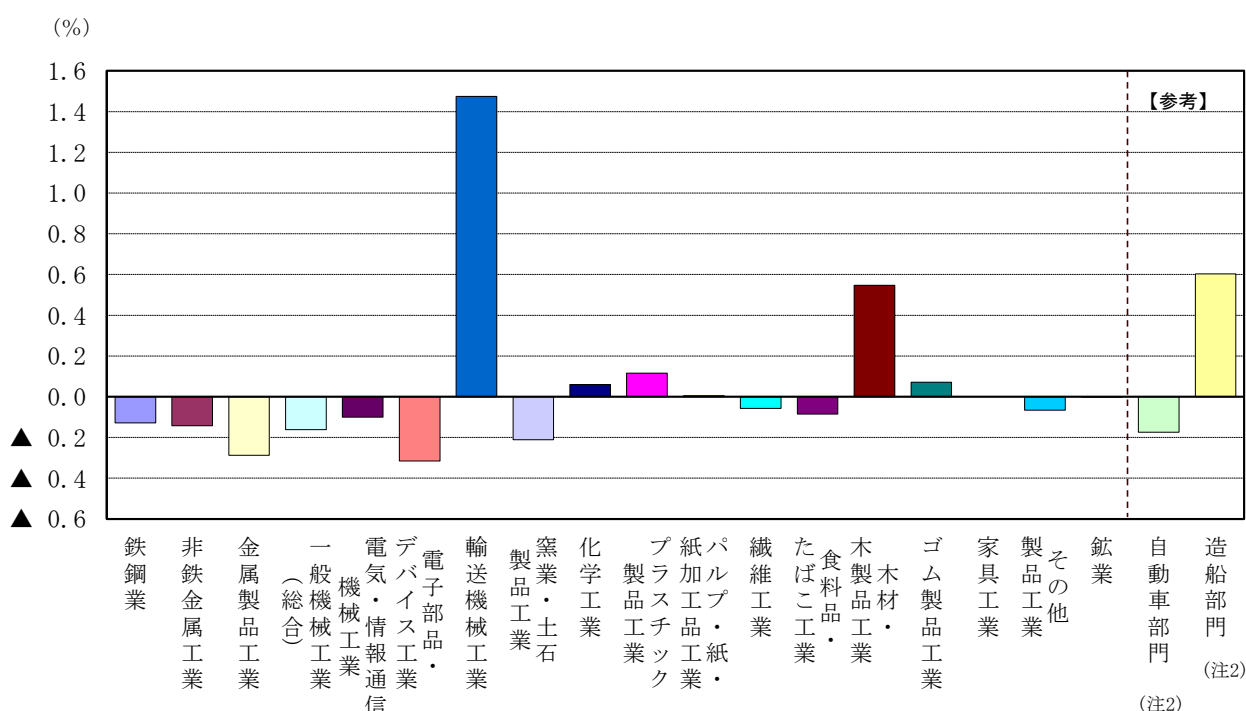
- ・ 在庫指数(期末在庫)は、100.3(前年比 4.5%上昇)。3年ぶりに前年を上回った(図1)。
- ・ 業種別にみると、輸送機械工業、金属製品工業、化学工業など8業種で上昇し、鉱業は横ばい、木材・木製品工業、電気機械工業（総合）、繊維工業など8業種で低下した。

図1 鉱工業指数の推移（年は原指数、四半期は季節調整済指数）（令和2年平均=100）



(注) Ⅰ期：1～3月、Ⅱ期：4～6月、Ⅲ期：7～9月、Ⅳ期：10～12月

図2 令和7年における生産指数の前年比に対する業種別寄与度^(注1)



(注1) 寄与度とは、指数全体の上昇・低下に対し、各業種の上昇・低下が、どの程度影響を与えているかを示したものの。

(注2) 「自動車部門」：輸送機械工業 18 品目のうち、普通自動車など自動車関連 10 品目と、電気・情報通信機械工業の自動車用電気照明器具及びプラスチック製品工業のプラスチック機械部品_輸送機械用の合計。

「造船部門」：輸送機械工業のうち、鋼船新造など造船関係 5 品目の合計。

2 生産の業種別動向（寄与度順）

(1) 前年比が上昇した主な業種

上昇した主な業種	前年比	寄与度	上昇した主な品目
輸送機械工業	6.3%	1.5%	航空機部品、鋼船新造、船用蒸気タービン
木材・木製品工業	16.8%	0.5%	特殊合板
プラスチック製品工業	1.9%	0.1%	フィルム_硬質製品、光学フィルム、フィルム_軟質製品

(2) 前年比が低下した主な業種

低下した主な業種	前年比	寄与度	低下した主な品目
電子部品・デバイス工業	▲2.8%	▲0.3%	大規模集積回路、集積回路、プロジェクションスクリーン
金属製品工業	▲5.6%	▲0.3%	グレーチング、橋りょう、スチール・ステンレスドア
窯業・土石製品工業	▲6.7%	▲0.2%	生コンクリート、石灰、不定形耐火物

3 関連業種別生産指数の推移

機械関連業種、素材関連業種は3年ぶりの上昇、生活関連業種は4年連続の低下

業種別の生産指数を、機械関連業種、素材関連業種、生活関連業種の3関連業種に分けて分析すると^(注)、令和7年は、機械関連業種及び素材関連業種は3年ぶりの上昇、生活関連業種は4年連続の低下となった(図3、4)。

図3 生産指数の前年比の推移

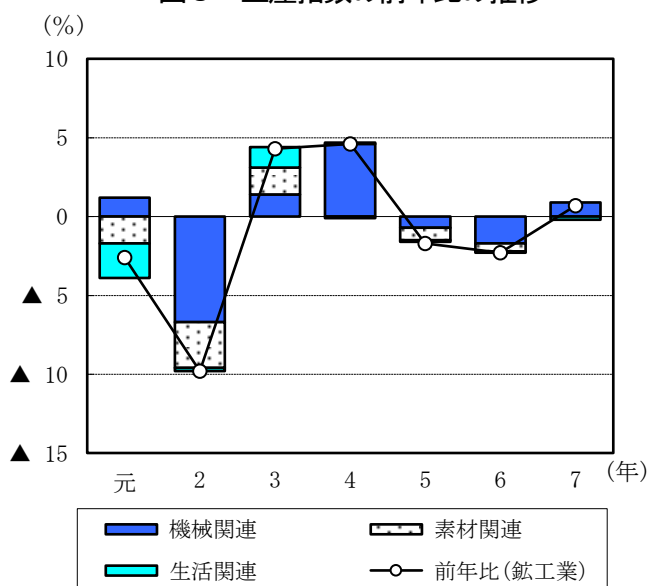
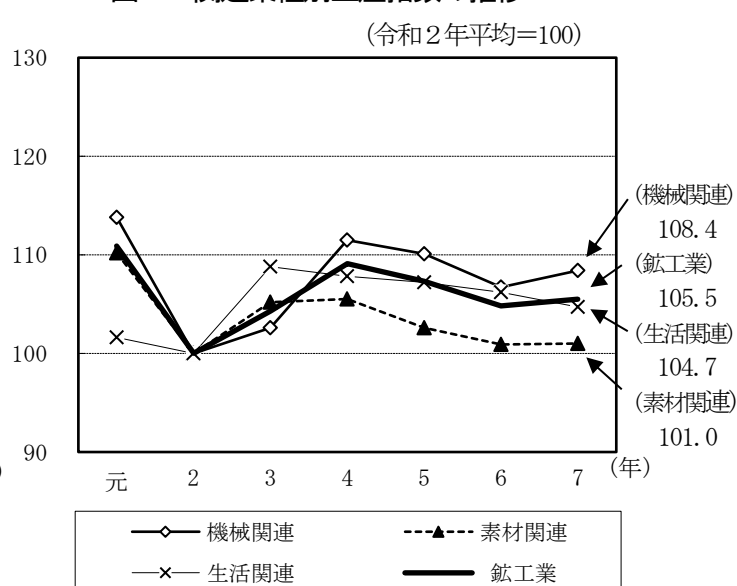


図4 関連業種別生産指数の推移



(注) 各関連業種の分類は、次のとおりとした。

機械関連業種：一般機械工業(総合)、電気・情報通信機械工業、電子部品・デバイス工業、輸送機械工業の4業種

素材関連業種：鉄鋼業、非鉄金属工業、金属製品工業、窯業・土石製品工業、化学工業、プラスチック製品工業、パルプ・紙・紙加工品工業、木材・木製品工業、ゴム製品工業の9業種

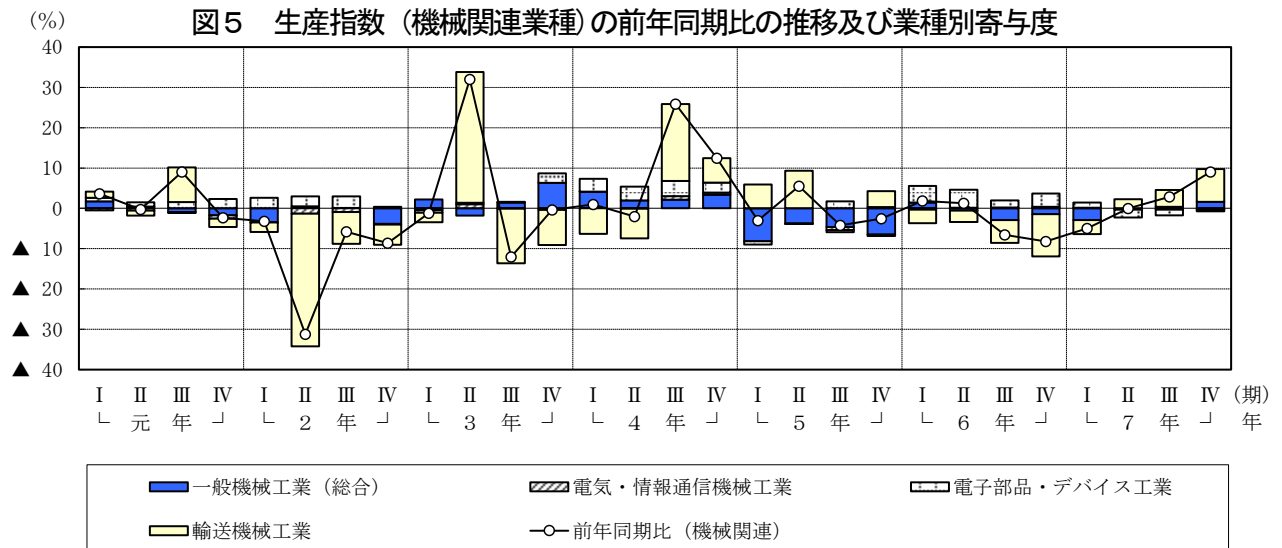
生活関連業種：繊維工業、食料品・たばこ工業、家具工業、その他製品工業の4業種

(1) 機械関連業種の生産指数の推移

機械関連業種の生産指数は、令和7年Ⅲ期以降はプラスで推移

機械関連業種の生産指数は、電子部品・デバイス工業などが低下したものの、輸送機械工業がⅡ期からⅣ期にプラスで推移したため、令和7年Ⅰ期は前年同期を下回り、Ⅱ期は横ばい、Ⅲ期からⅣ期は前年同期を上回った(図5)。

機械関連	令和7年Ⅰ期	Ⅱ期	Ⅲ期	Ⅳ期
原指数	105.6	105.9	106.8	115.5
前年同期比(%)	▲ 5.0	0.0	2.9	9.0



① 一般機械工業（総合）

一般機械工業（総合）は、93.1（前年比 ▲1.0%低下）。印刷機械、ポンプなどが上昇したものの、圧縮機、半導体製造装置などが低下に寄与した。四半期ごとにみると、令和7年Ⅲ期に6期ぶりに前年同期を上回り、Ⅳ期も前年同期を上回った。

② 電気・情報通信機械工業

電気・情報通信機械工業は、99.4（前年比 ▲3.3%低下）。自動車用電気照明器具、低圧遮断器などが上昇したものの、電気測定機、電気計器などが低下に寄与した。四半期ごとにみると、令和7年Ⅱ期に5期ぶりに前年同期を下回り、Ⅱ期からⅣ期まで3期連続で前年同期を下回った。

③ 電子部品・デバイス工業

電子部品・デバイス工業は、151.4（前年比 ▲2.8%低下）。大規模集積回路、集積回路などすべての品目が低下した。四半期ごとにみると、令和7年Ⅱ期に8期ぶりに前年同期を下回り、Ⅱ期からⅣ期まで3期連続で前年同期を下回った。

④ 輸送機械工業

輸送機械工業は、108.2（前年比 6.3%上昇）。普通自動車、鉄道車両などが低下したものの、航空機部品、鋼船新造などが上昇に寄与した。四半期ごとにみると、令和7年Ⅱ期に6期ぶりに前年同期を上回り、Ⅱ期からⅣ期まで3期連続で前年同期を上回った。

【参考】自動車部門

自動車部門は、93.5（前年比 ▲1.0%低下）。ディーゼルエンジン、自動車用電気照明器具などが上昇したものの、普通自動車、シャシー及び車体部品などが低下に寄与した。四半期ごとにみると、令和7年Ⅲ期に7期ぶりに前年同期を上回り、Ⅳ期も前年同期を上回った。

【参考】造船部門

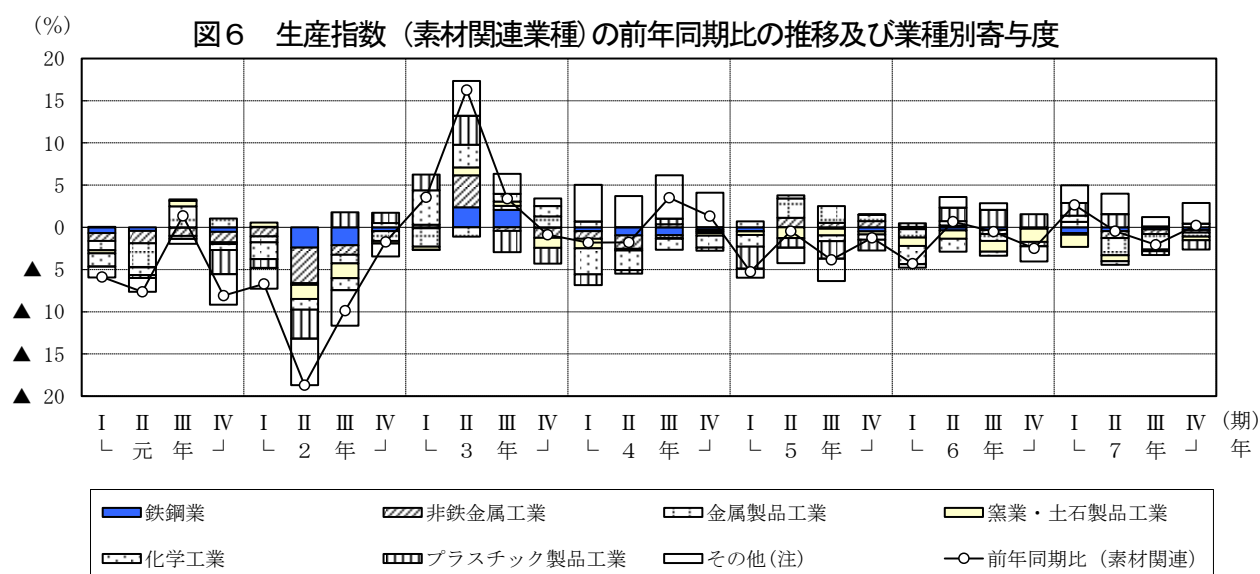
造船部門は、110.4（前年比 24.2%上昇）。鋼船修理が低下したものの、鋼船新造、船用蒸気タービンなどが上昇に寄与した。四半期ごとにみると、令和7年Ⅰ期に3期ぶりに前年同期を下回ったものの、Ⅱ期からⅣ期まで3期連続で前年同期を上回った。

(2) 素材関連業種の生産指数の推移

素材関連業種の生産指数は、Ⅱ期からⅢ期は前年同期を下回る

素材関連業種の生産指数は、プラスチック製品工業などが上昇したものの、窯業・土石製品工業や非鉄金属工業などが全期で前年同期を下回ったため、令和7年Ⅰ期とⅣ期は前年同期を上回り、Ⅱ期からⅢ期は前年同期を下回った(図6)。

素材関連	令和7年Ⅰ期	Ⅱ期	Ⅲ期	Ⅳ期
原指数	100.5	103.2	97.0	103.3
前年同期比(%)	2.7	▲ 0.5	▲ 2.1	0.2



(注) 「その他」はパルプ・紙・紙加工品工業、木材・木製品工業、ゴム製品工業の合計。

① 鉄鋼業

鉄鋼業は、89.4(前年比 ▲7.2%低下)。鋼板、普通鋼冷間仕上 棒鋼・鋼線が上昇したものの、特殊鋼熱間圧延鋼材、鋼帯などが低下に寄与した。四半期ごとにみると、全期で前年同期を下回り、令和3年Ⅳ期以降17期連続で前年同期を下回った。

② 非鉄金属工業

非鉄金属工業は、100.0(前年比 ▲5.7%低下)。銅・銅合金鋳物、電気銀が上昇したものの、アルミニウム鋳物、アルミニウムダイカストなどが低下に寄与した。四半期ごとにみると、全期で前年同期を下回り、令和6年Ⅲ期以降6期連続で前年同期を下回った。

③ 金属製品工業

金属製品工業は、99.0(前年比 ▲5.6%低下)。電気溶接棒、飲料用缶が上昇したものの、グレーチング、橋ようなどが低下に寄与した。四半期ごとにみると、令和7年Ⅰ期に3期ぶりに前年同期を上回ったものの、Ⅱ期からⅣ期まで3期連続で前年同期を下回った。

④ 窯業・土石製品工業

窯業・土石製品工業は、75.6(前年比 ▲6.7%低下)。研削砥石、遠心力鉄筋コンクリート製ポールが上昇したものの、生コンクリート、石灰などが低下に寄与した。四半期ごとにみると、全期で前年同期を下回り、令和3年Ⅳ期以降17期連続で前年同期を下回った。

⑤ 化学工業

化学工業は、92.4(前年比 1.1%上昇)。アクリロニトリル、環境保全用触媒などが低下したものの、医薬品、フルオロカーボンなどが上昇に寄与した。四半期ごとにみると、令和7年Ⅰ期に7期ぶりに前年同期を上回り、Ⅱ期は前年同期を下回ったものの、Ⅲ期からⅣ期は前年同期を上回った。

⑥ プラスチック製品工業

プラスチック製品工業は、98.6(前年比 1.9%上昇)。日用品・雑貨、継手などが低下したものの、フィルム、硬質製品、光学フィルムなどが上昇に寄与した。四半期ごとにみると、令和7年Ⅰ期からⅡ期は前年同期を上回ったものの、Ⅲ期に7期ぶりに前年同期を下回り、Ⅳ期も前年同期を下回った。

⑦ パルプ・紙・紙加工品工業

パルプ・紙・紙加工品工業は、104.3(前年比 0.6%上昇)。紙器用板紙、段ボールシートなどが低下したものの、包装用紙、製紙パルプなどが上昇に寄与した。四半期ごとにみると、令和7年Ⅰ期は前年同期を上回ったものの、Ⅱ期からⅣ期まで3期連続で前年同期を下回った。

⑧ 木材・木製品工業

木材・木製品工業は、172.5(前年比 16.8%上昇)。製材品が低下したものの、特殊合板が上昇に寄与した。四半期ごとにみると、令和7年Ⅰ期に3期ぶりに前年同期を上回り、令和7年Ⅰ期以降4期連続で前年同期を上回った。

⑨ ゴム製品工業

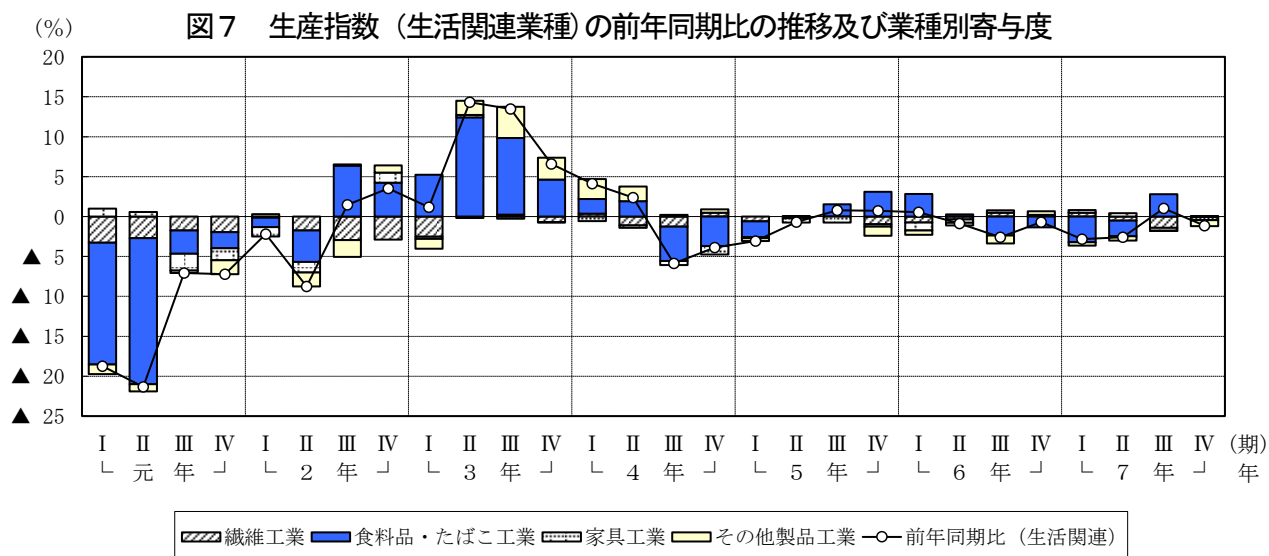
ゴム製品工業は、127.8(前年比 3.8%上昇)。その他のゴム製品が低下したものの、工業用ゴム製品、自動車用タイヤ(特殊車両用)などが上昇に寄与した。四半期ごとにみると、令和7年Ⅲ期に6期ぶりに前年同期を下回ったものの、Ⅳ期は前年同期を上回った。

(3) 生活関連業種の生産指数の推移

生活関連業種の生産指数は、Ⅲ期以外はマイナスで推移

生活関連業種の生産指数は、食料品・たばこ工業が令和7年Ⅲ期、Ⅳ期に前年同期を上回りⅢ期は前年同期を上回ったものの、それ以外のⅠ期からⅡ期とⅣ期は前年同期を下回った(図7)。

生活関連	令和7年Ⅰ期	Ⅱ期	Ⅲ期	Ⅳ期
原指数	100.2	108.3	104.5	105.6
前年同期比(%)	▲ 2.8	▲ 2.6	1.0	▲ 1.2



① 繊維工業

繊維工業は、83.3(前年比 ▲3.5%低下)。再生・半合成繊維、合成繊維生地が上昇したものの、染色整理、網類などが低下に寄与した。四半期ごとにみると、令和7年II期に4期ぶりに前年同期を下回り、II期からIV期まで3期連続で前年同期を下回った。

② 食料品・たばこ工業

食料品・たばこ工業は、110.9(前年比 ▲0.9%低下)。清涼し好飲料、飲用牛乳などが上昇したものの、海藻加工品、パン類などが低下に寄与した。四半期ごとにみると、令和7年I期からII期は前年同期を下回ったものの、III期に5期ぶりに前年同期を上回り、IV期も前年同期を上回った。

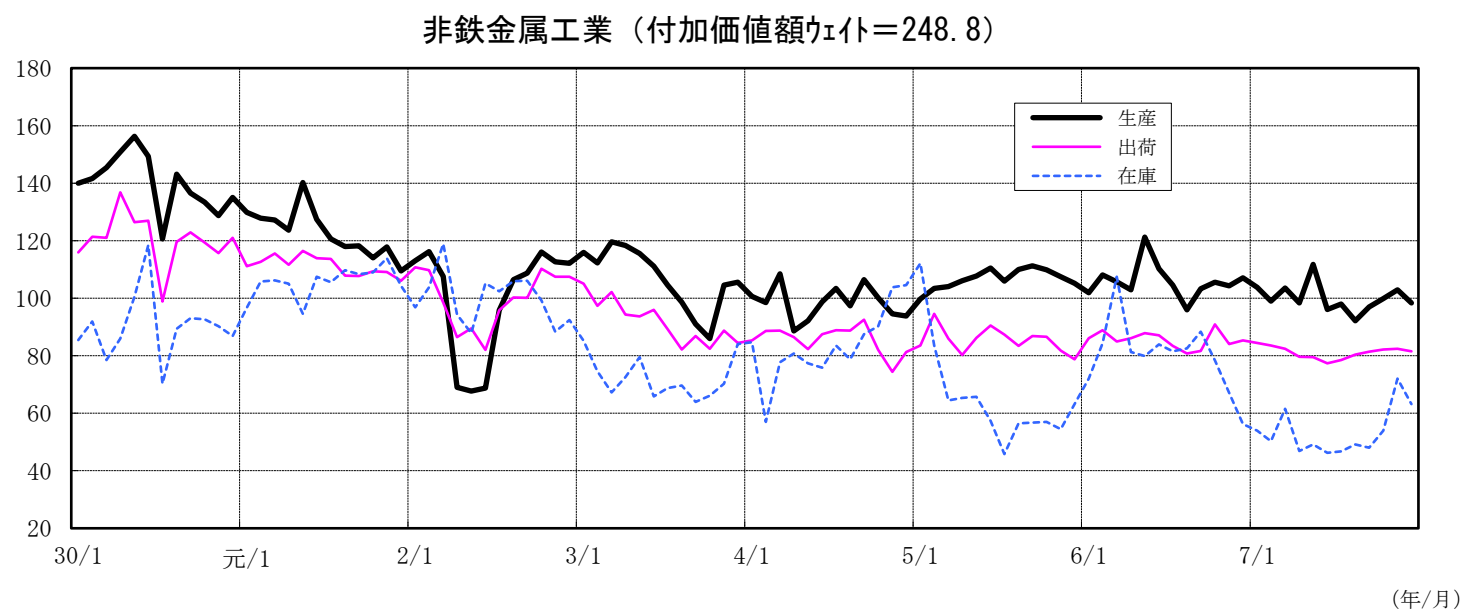
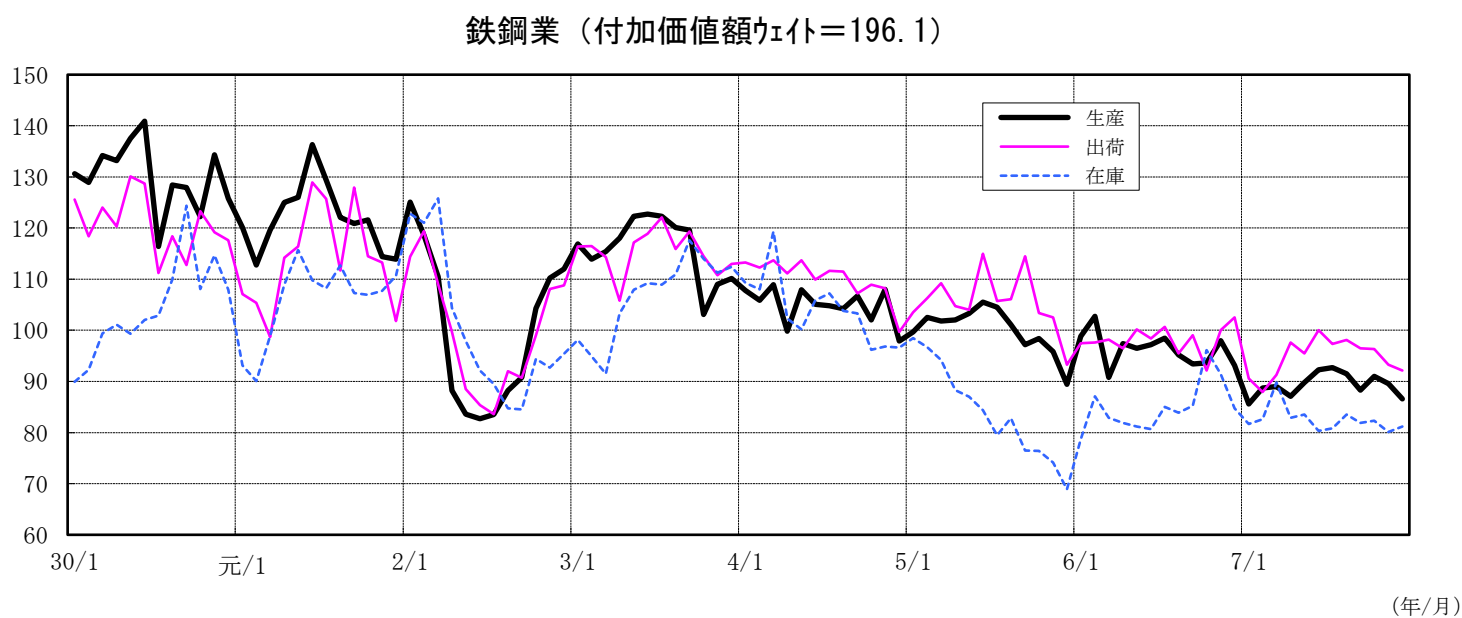
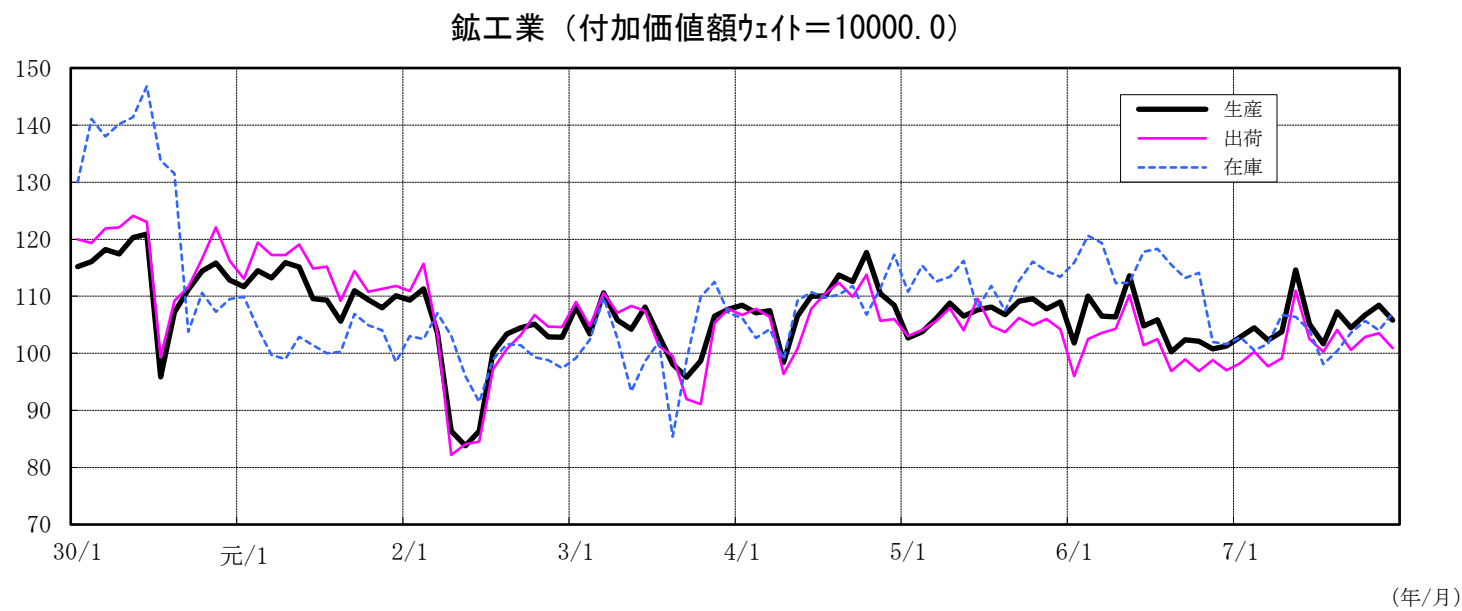
③ 家具工業

家具工業は、69.1(前年比 横ばい)。木製応接いす・食卓いす、木製ベッドなどが上昇し、その他の金属製家具、木製机などが低下した。四半期ごとにみると、令和7年I期からII期は前年同期を上回ったものの、III期に5期ぶりに前年同期を下回り、IV期も前年同期を下回った。

④ その他製品工業

その他製品工業は、108.7(前年比 ▲2.0%低下)。看板が上昇したものの、コークス、印刷などが低下に寄与した。四半期ごとにみると、令和7年I期に2期ぶりに前年同期を下回り、令和7年I期以降4期連続で前年同期を下回った。

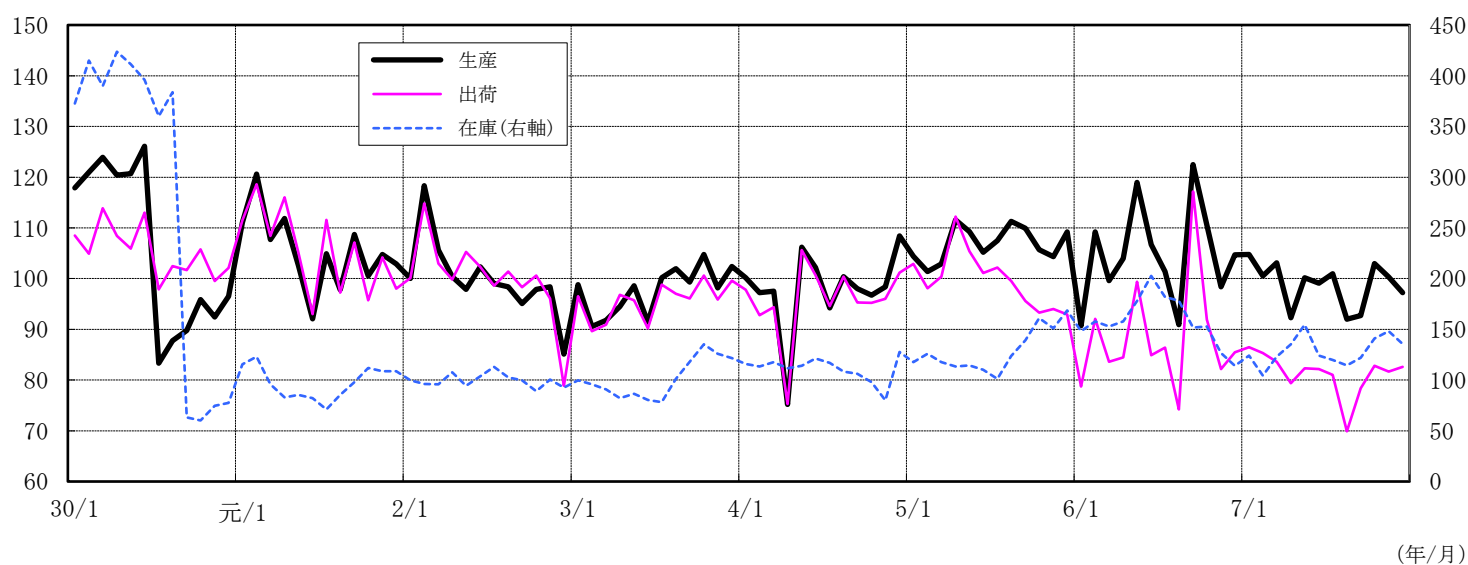
4 業種別季節調整済指数の推移（令和2年平均＝100）



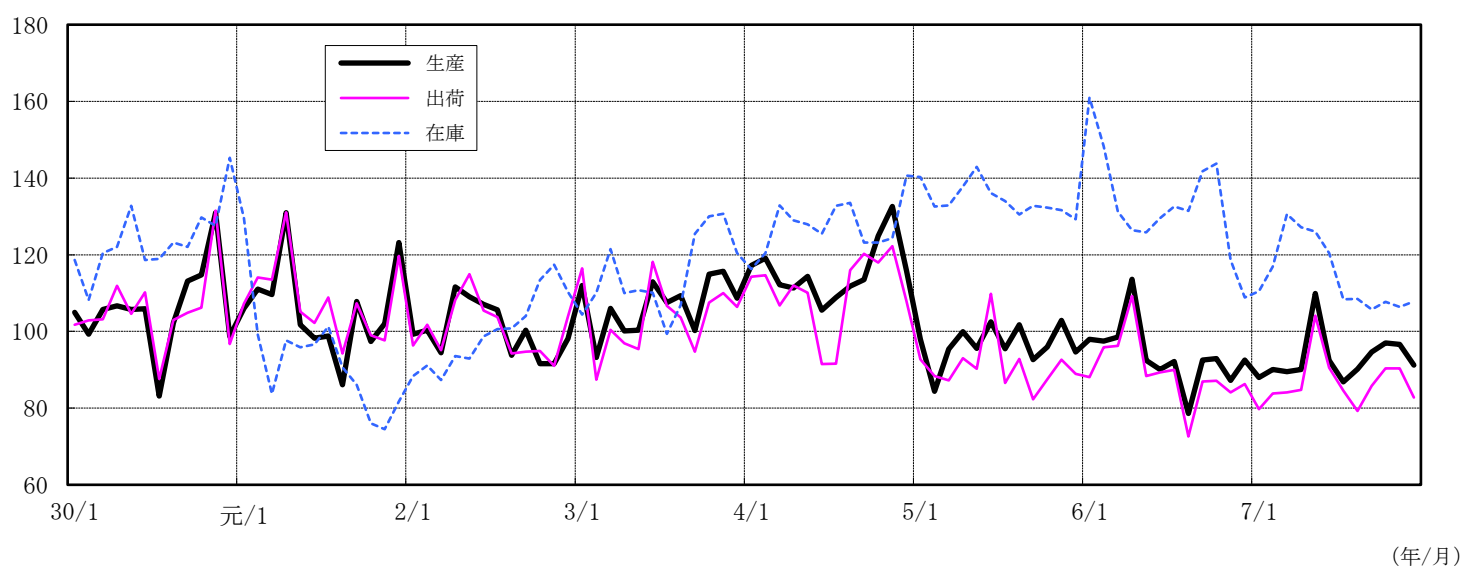
生産・出荷

金属製品工業（付加価値額ウェイト＝511.5）

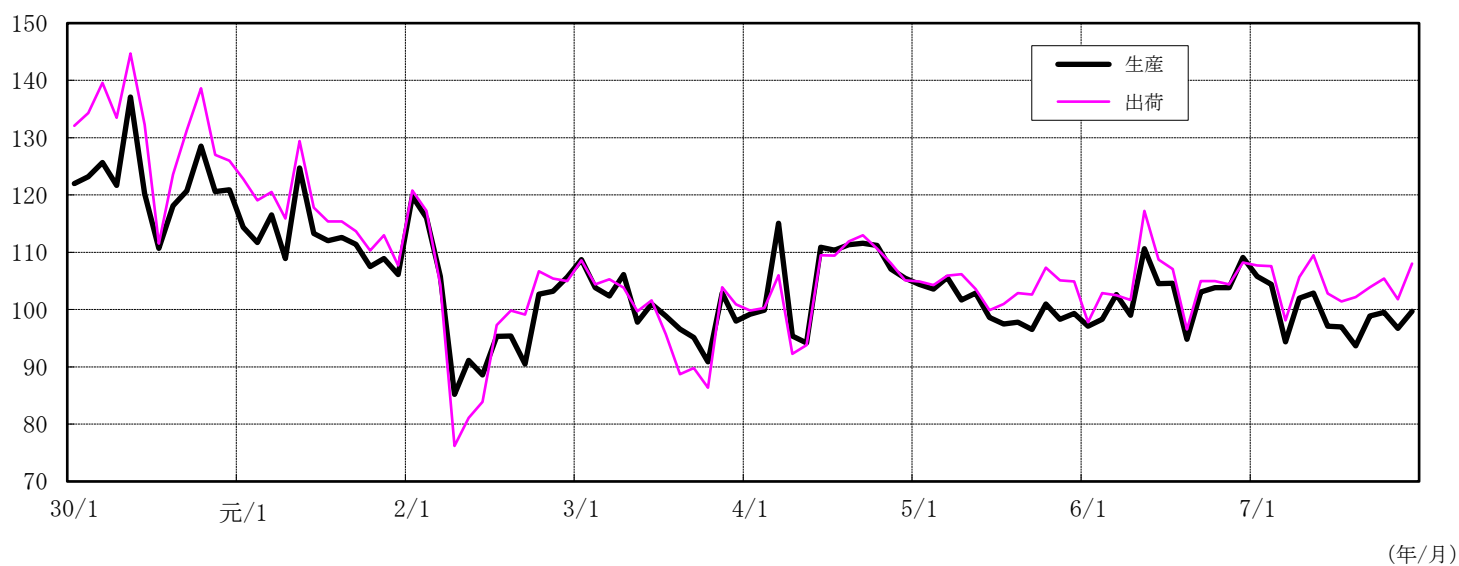
在庫



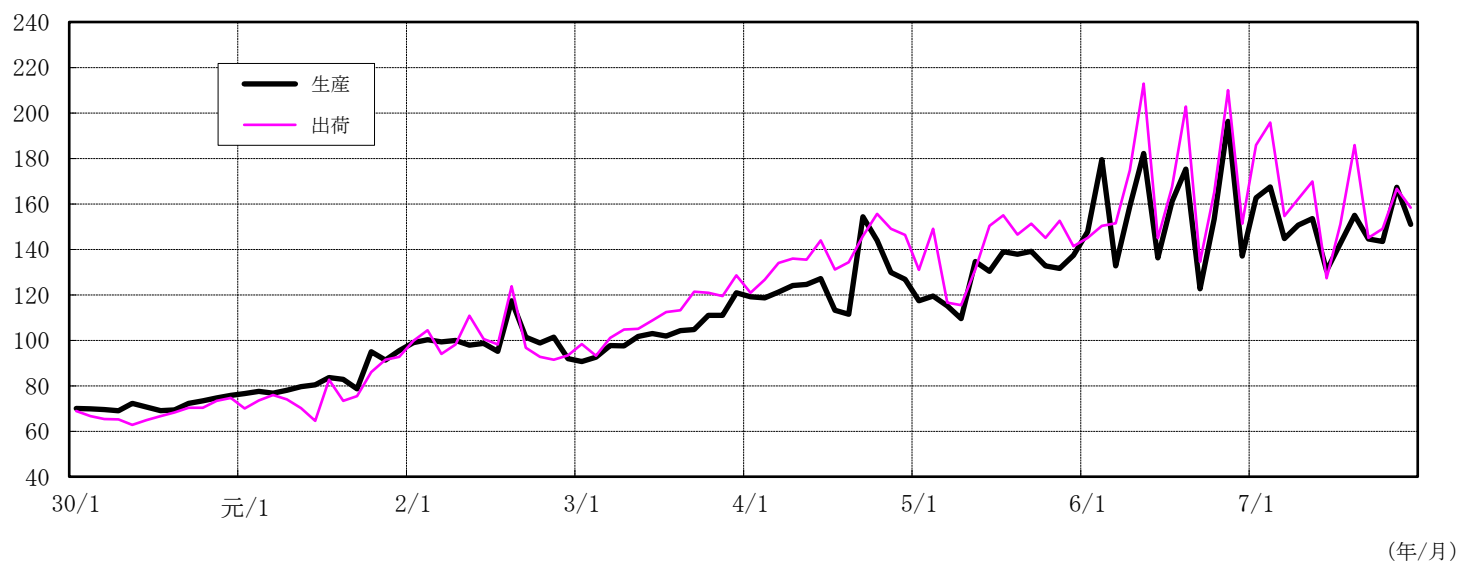
一般機械工業（総合）（付加価値額ウェイト＝1887.0）



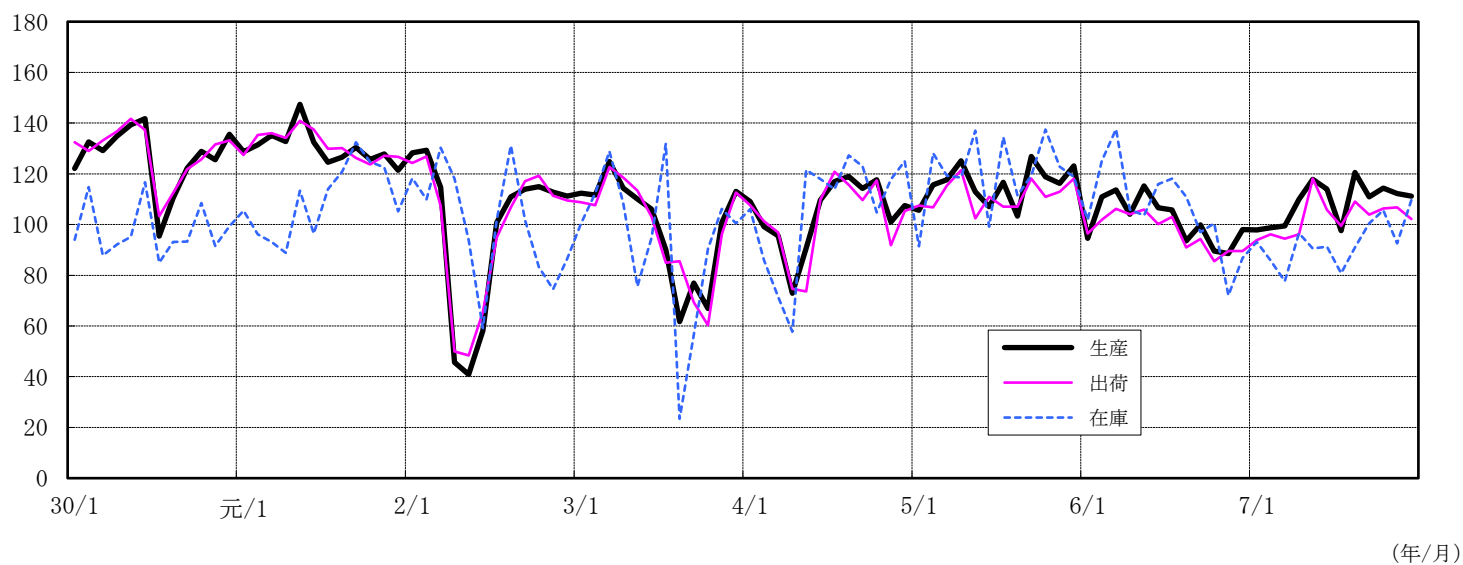
電気・情報通信機械工業（付加価値額ウェイト＝310.3）



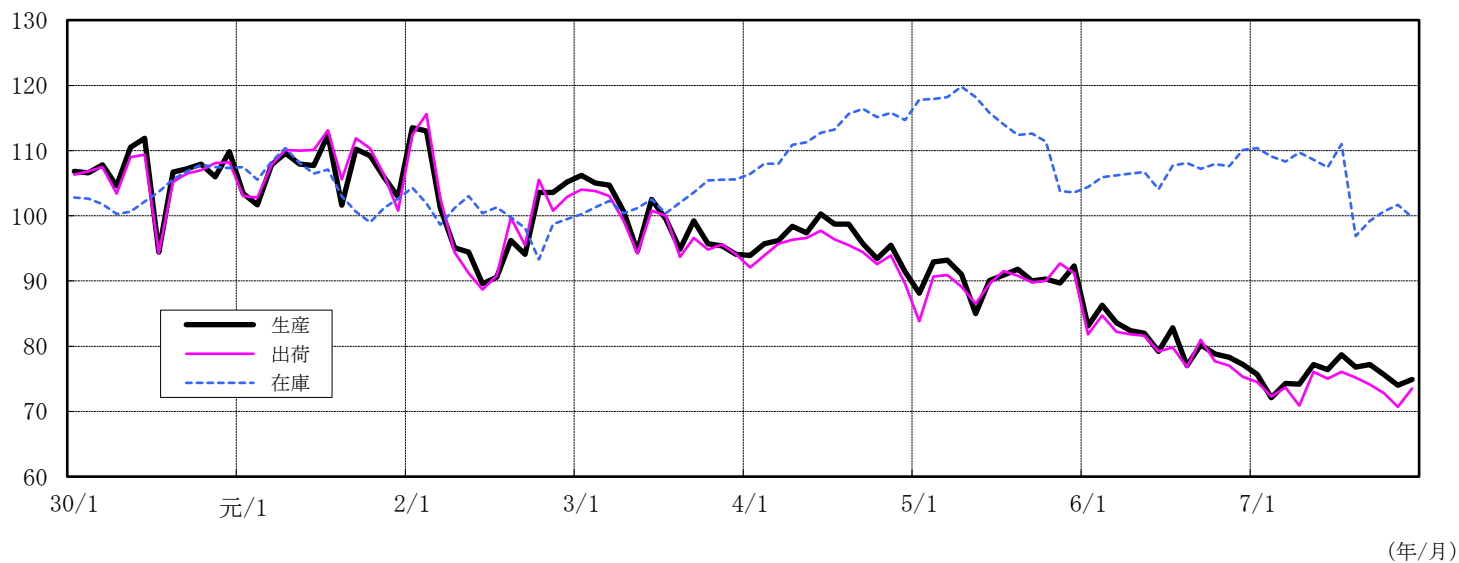
電子部品・デバイス工業（付加価値額ウェイト＝750.5）



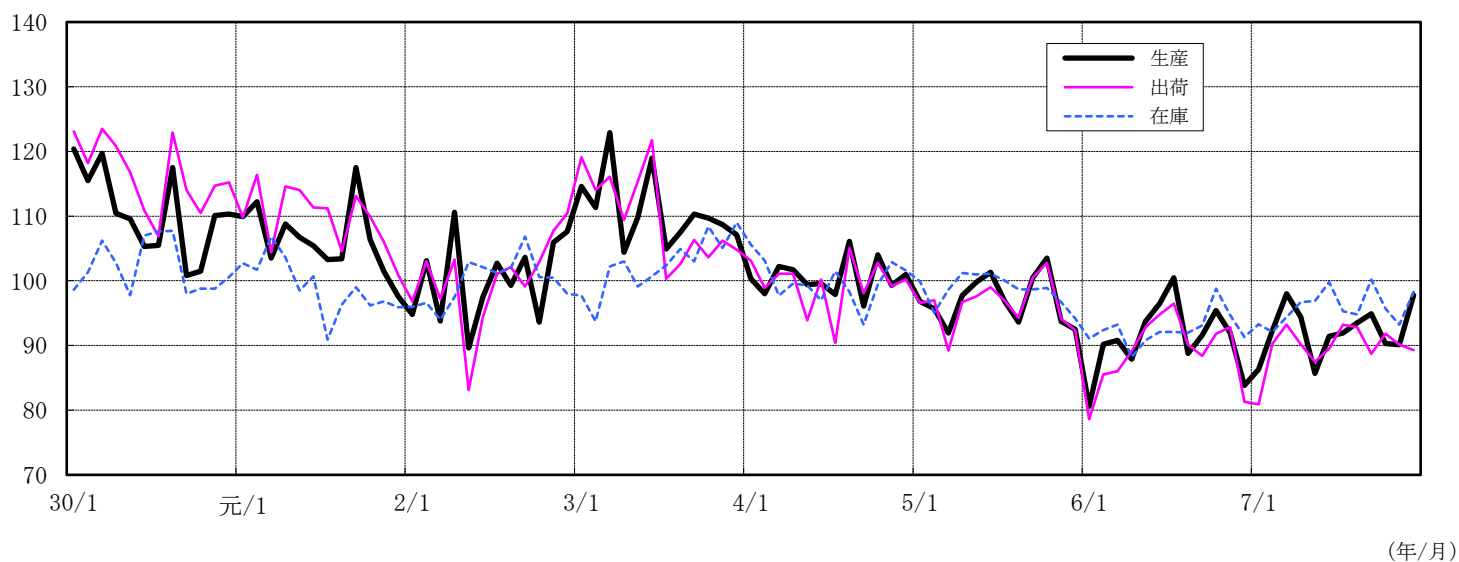
輸送機械工業（付加価値額ウェイト＝2415.4）



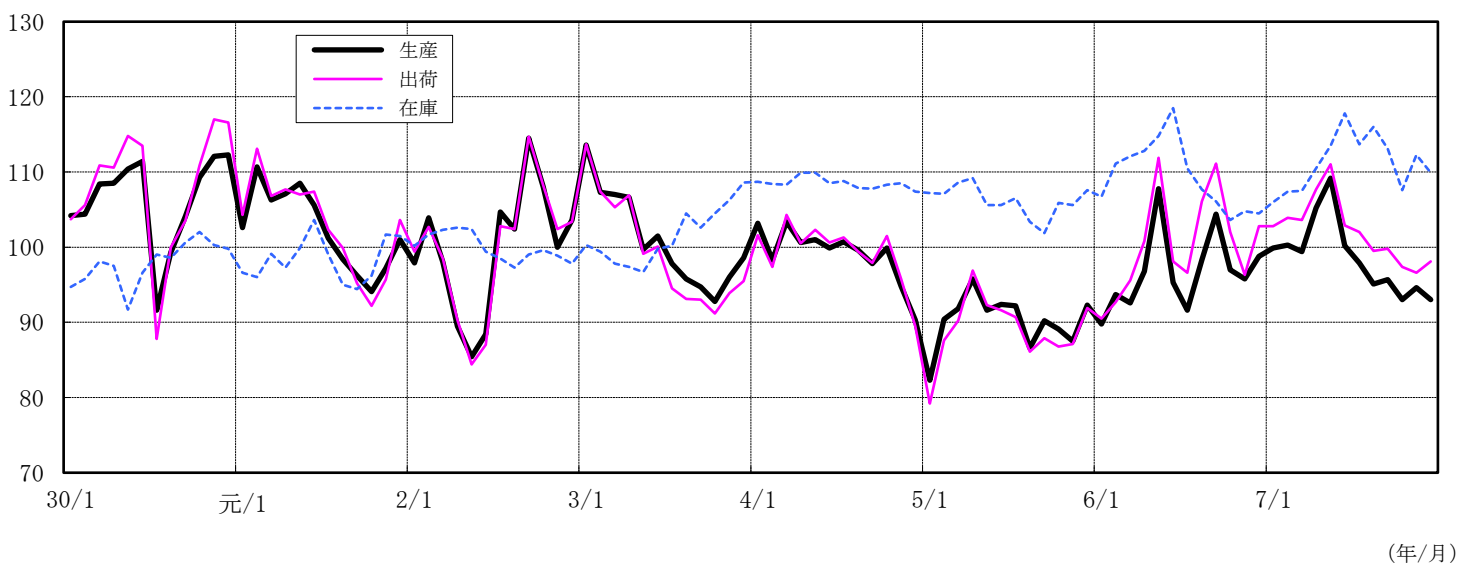
窯業・土石製品工業（付加価値額ウェイト＝410.6）



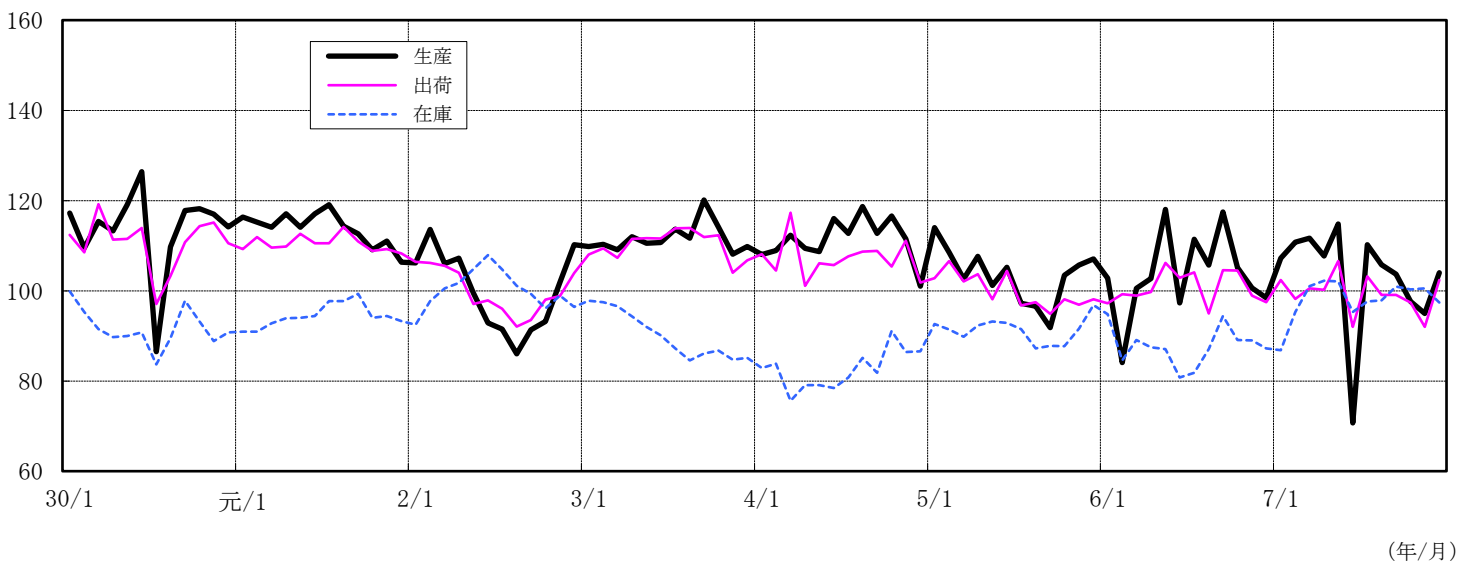
化学工業（付加価値額ウェイト＝632.6）



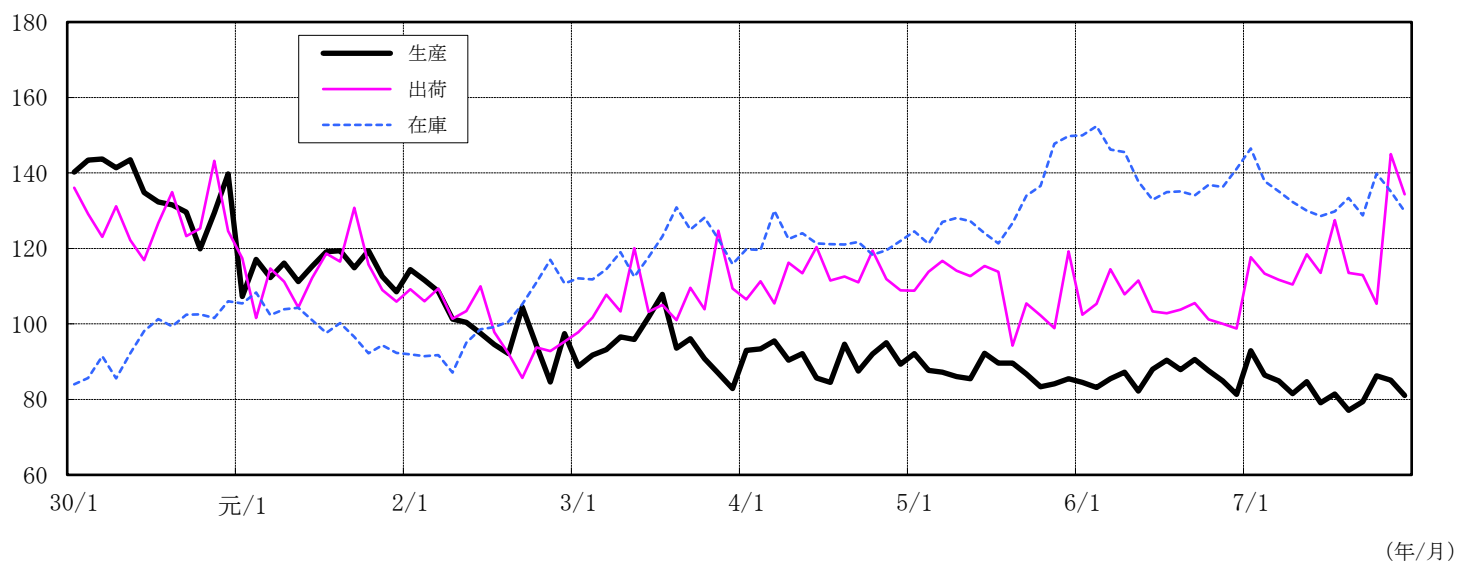
プラスチック製品工業（付加価値額ウェイト＝673.6）



パルプ・紙・紙加工品工業（付加価値額ウェイト＝99.6）



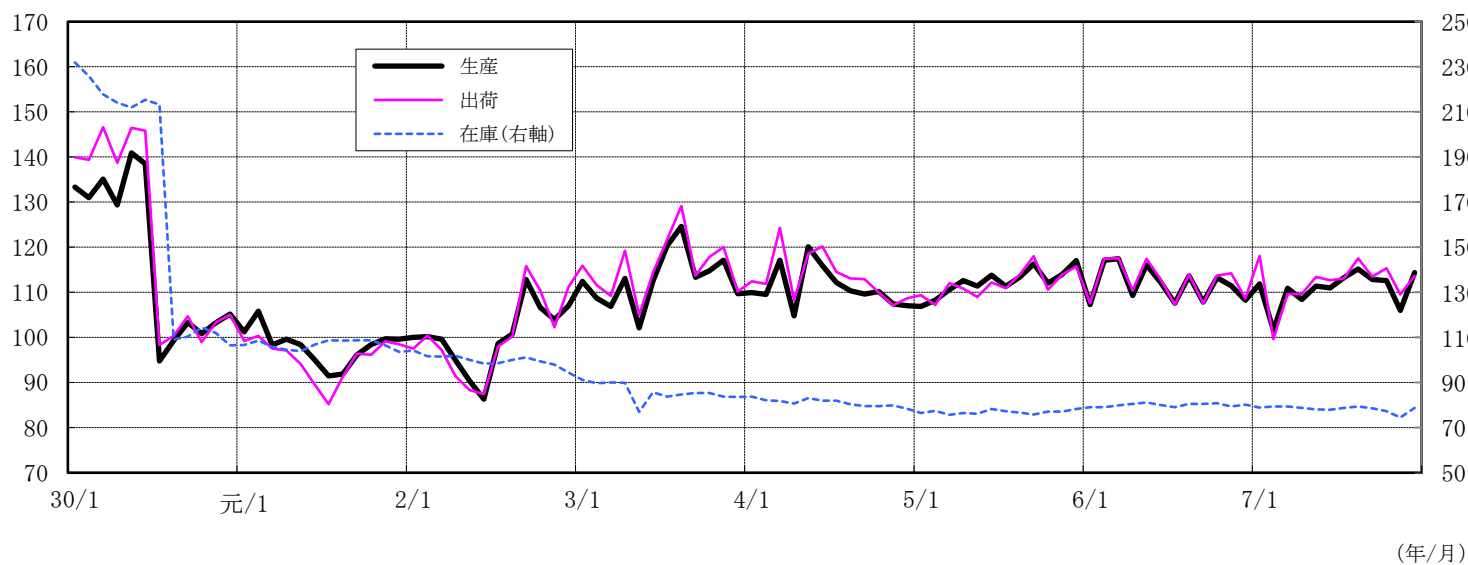
繊維工業（付加価値額ウェイト＝200.2）



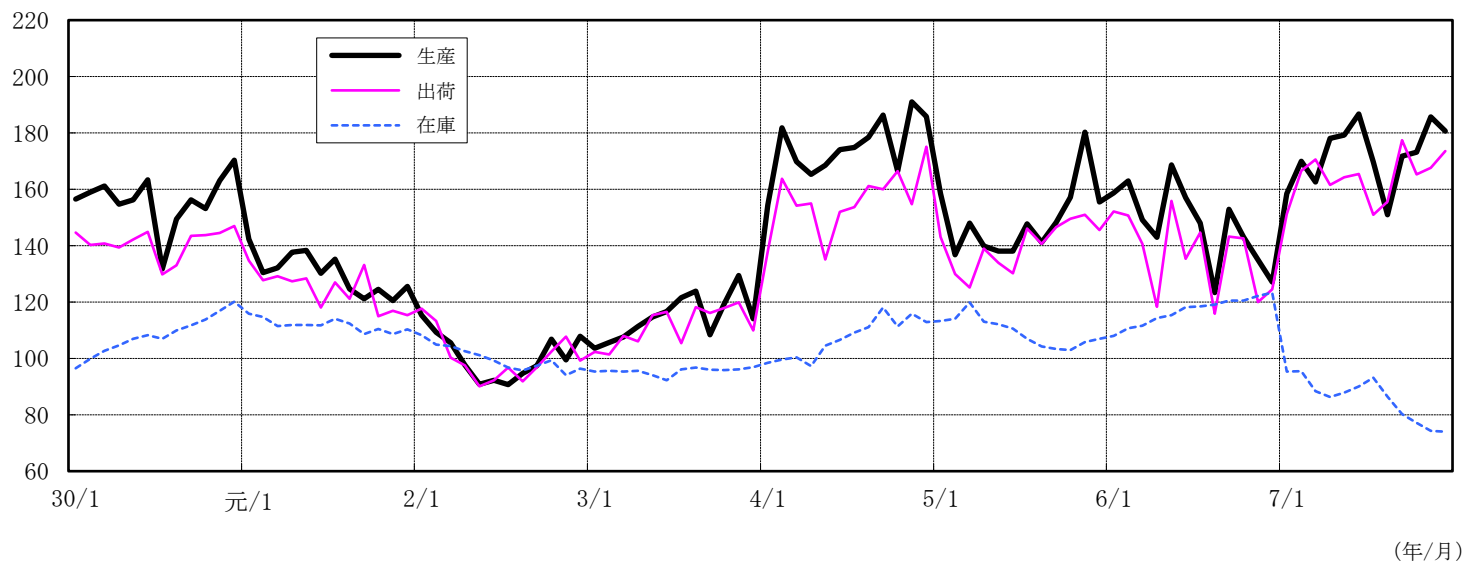
生産・出荷

食料品・たばこ工業（付加価値額ウェイト＝888.7）

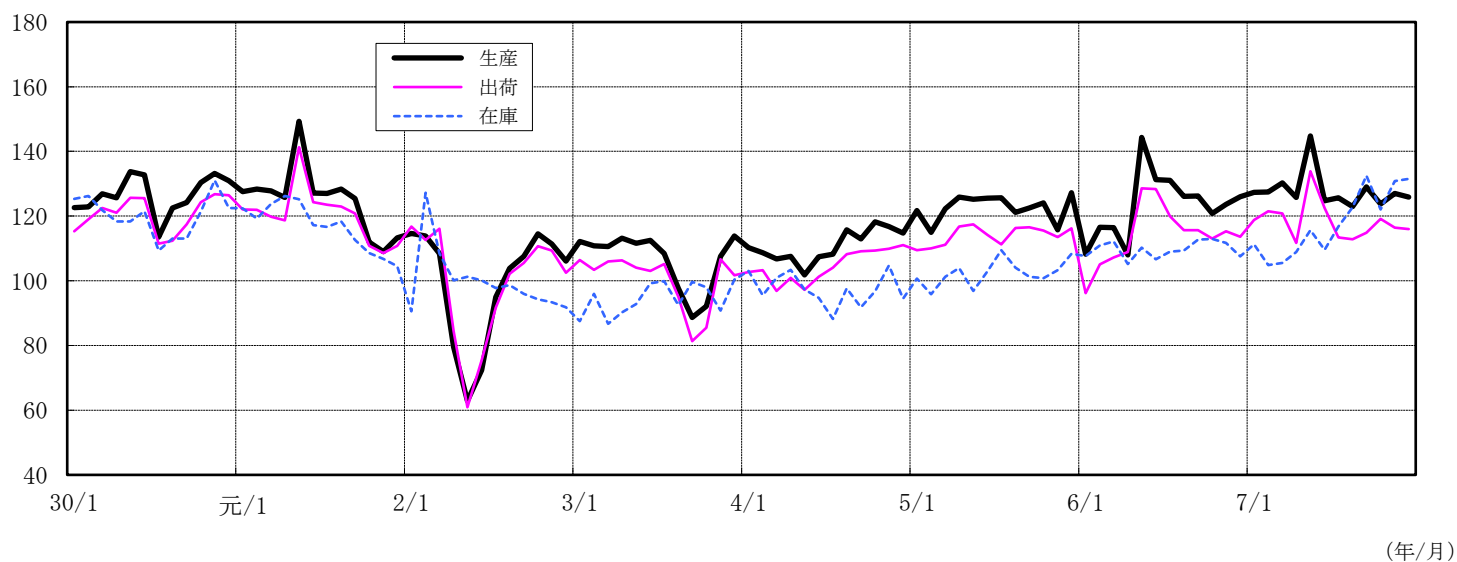
在庫



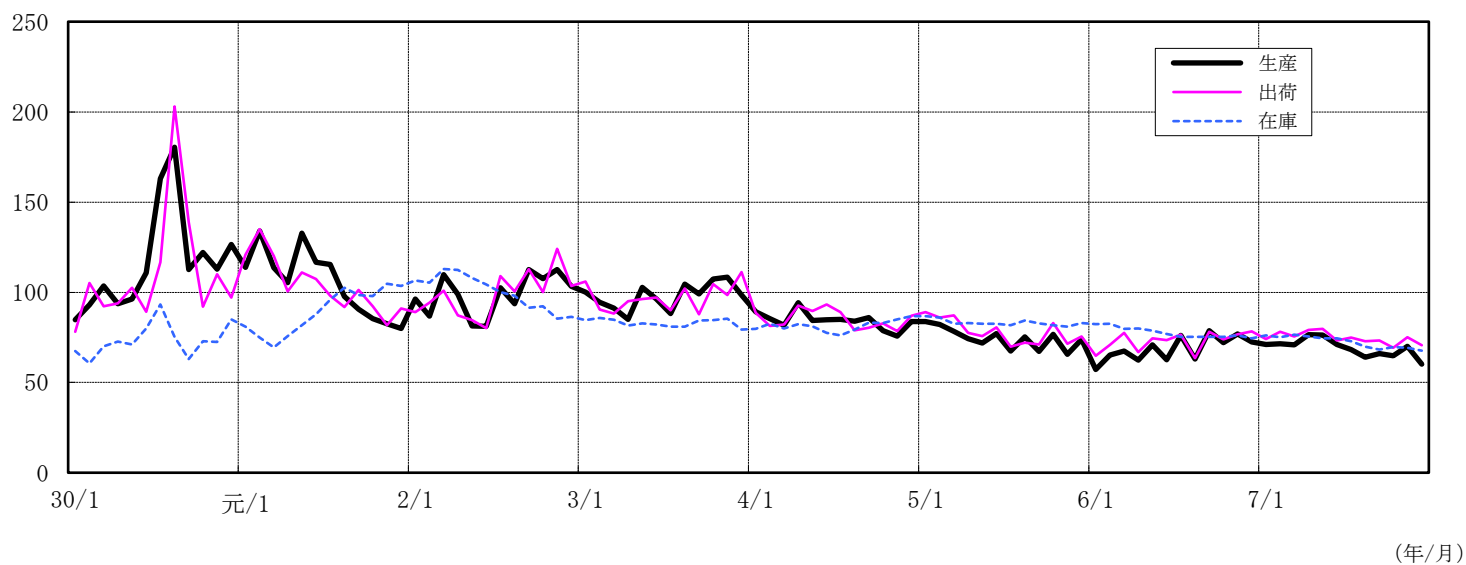
木材・木製品工業（付加価値額ウェイト＝231.0）



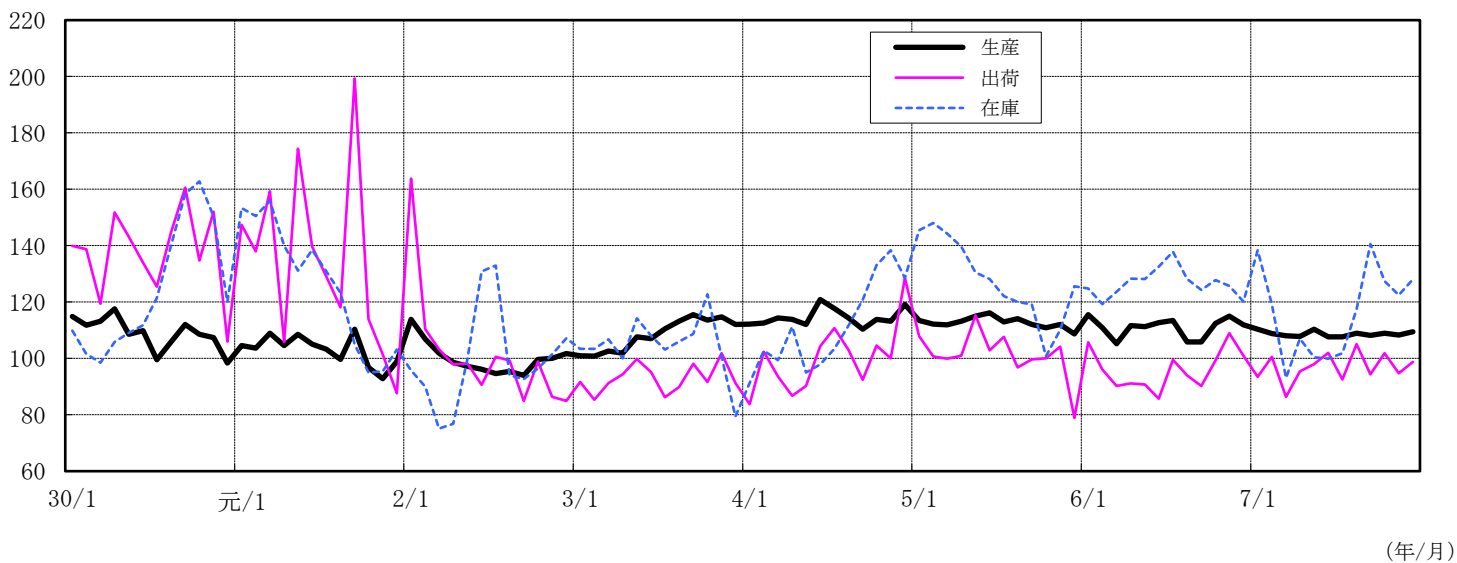
ゴム製品工業（付加価値額ウェイト＝157.6）



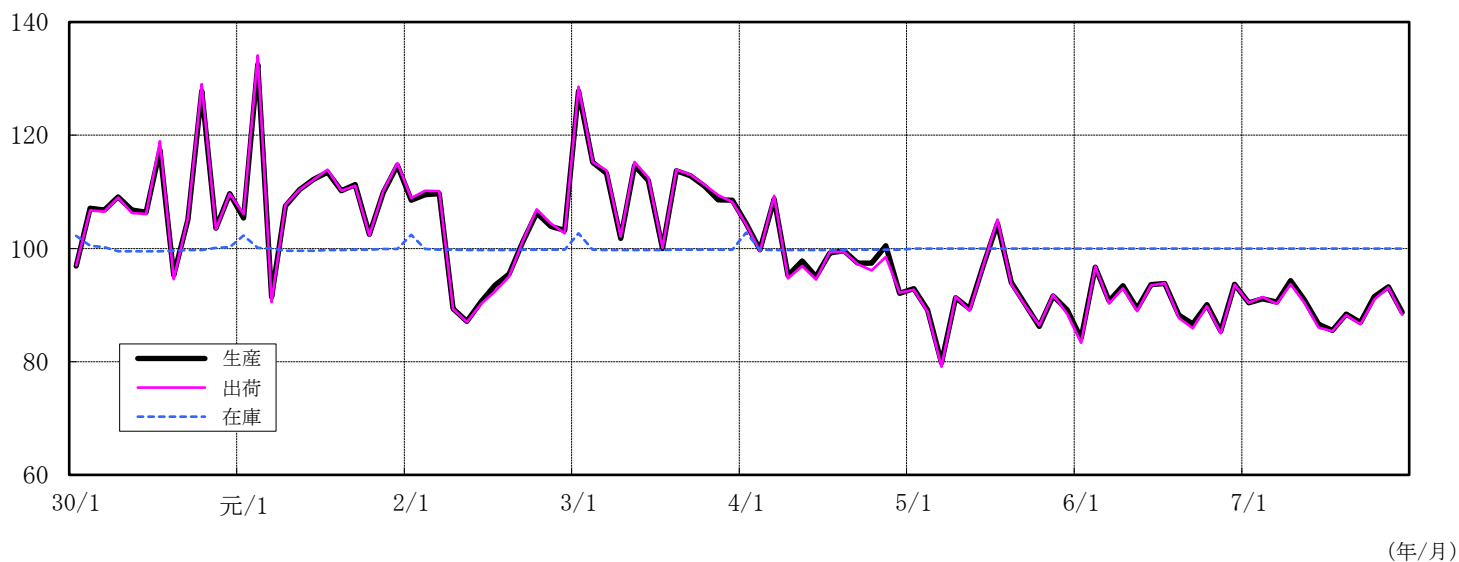
家具工業（付加価値額ウェイト＝69.8）



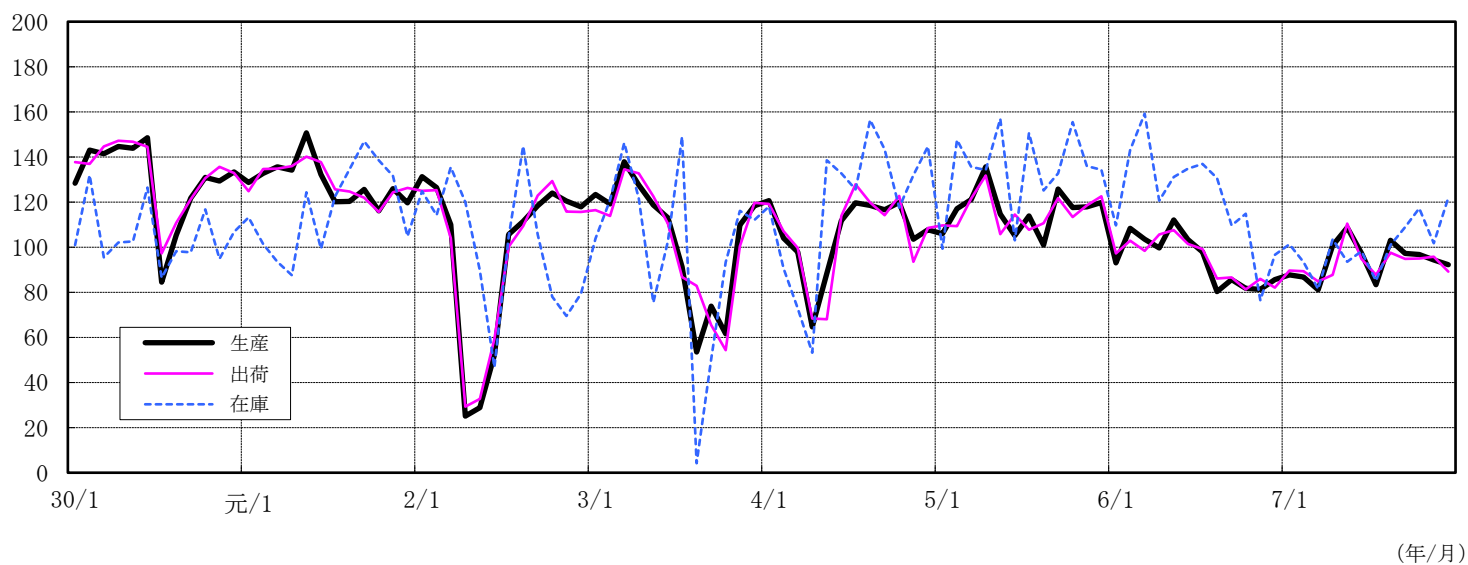
その他製品工業（付加価値額ウェイト＝314.9）



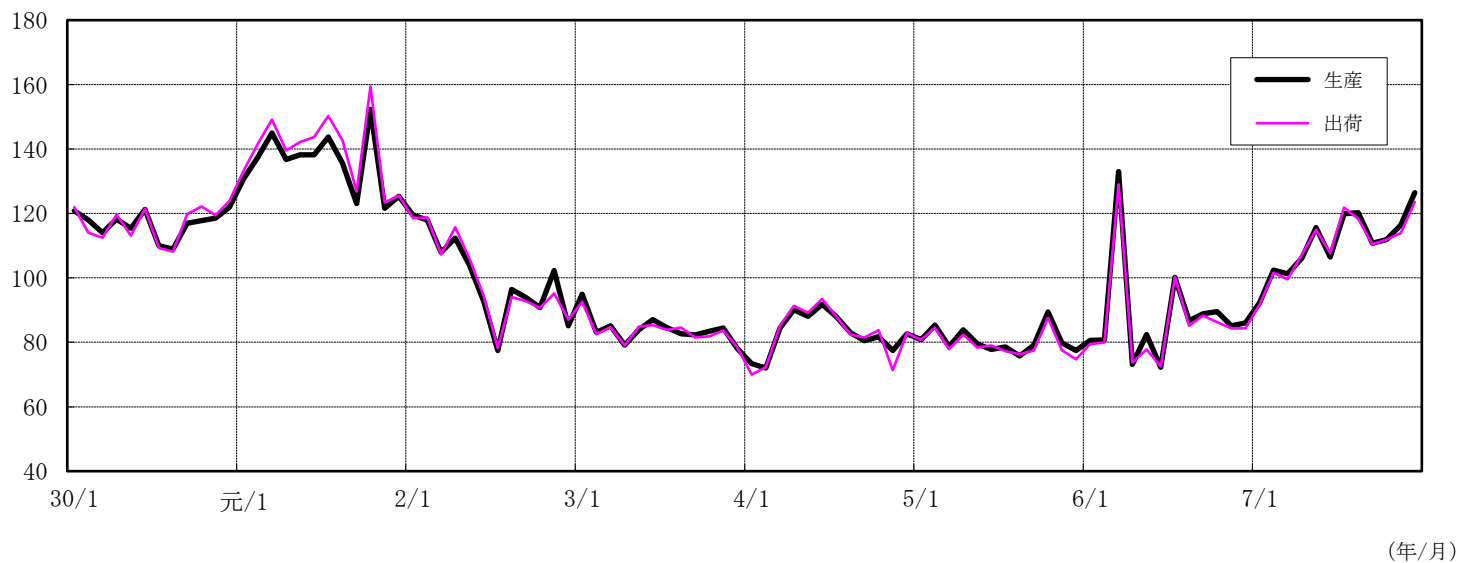
鉱業（付加価値額ウェイト＝1.8）



【参考】自動車部門（付加価値額ウェイト＝2031.3）



【参考】造船部門（付加価値額ウェイト＝294.0）



5 広島県、中国地方及び全国における生産指数の推移

令和7年を四半期ごとにみると、広島県では、Ⅰ期～Ⅱ期は前年同期を下回ったが、Ⅲ期～Ⅳ期は前年同期を上回った(図8-1)。中国地方では、全期で前年同期を下回った(図8-2)。全国では、Ⅰ期は前年同期を上回ったが、Ⅱ期は横ばい、Ⅲ期～Ⅳ期は前年同期を下回った(図8-3)。

図8-1 広島県の生産指数の前年同期比の推移

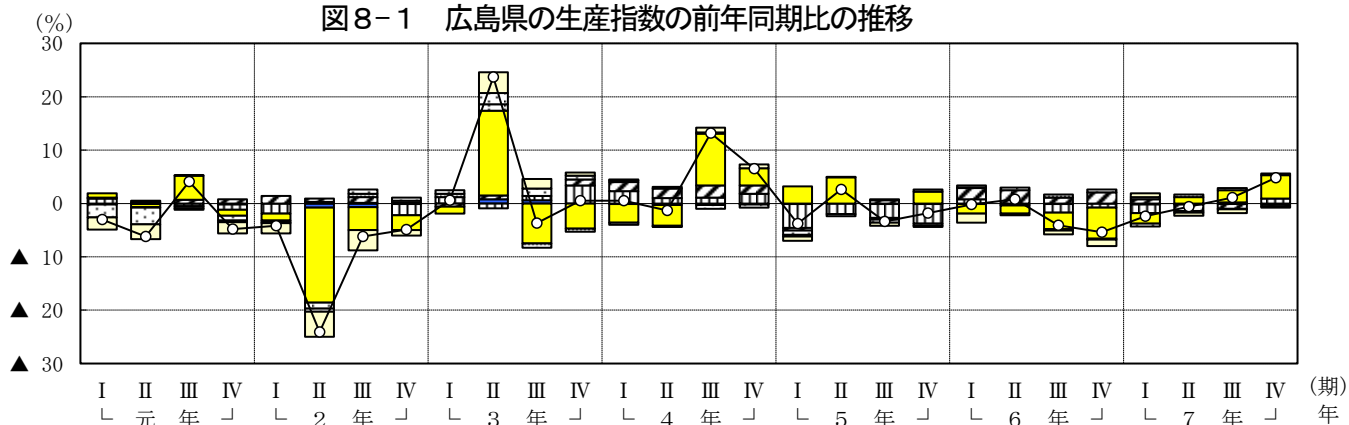


図8-2 中国地方の生産指数の前年同期比の推移

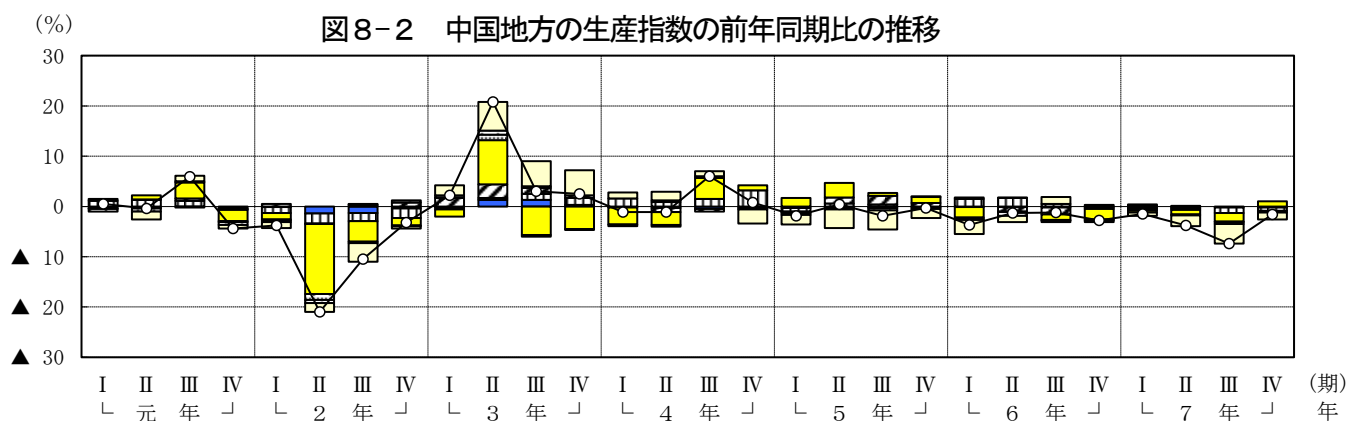
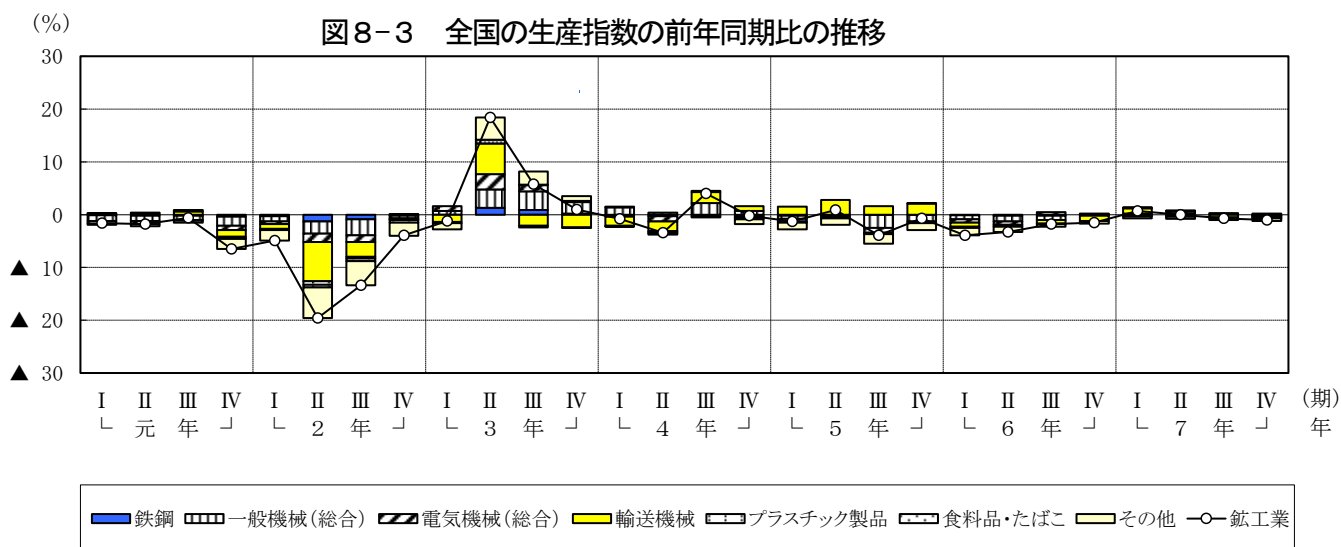


図8-3 全国の生産指数の前年同期比の推移



出所：中国地方 … 「中国地域鉱工業生産動向」(経済産業省中国経済産業局)

全 国 … 「鉱工業生産・出荷・在庫指数」(経済産業省)

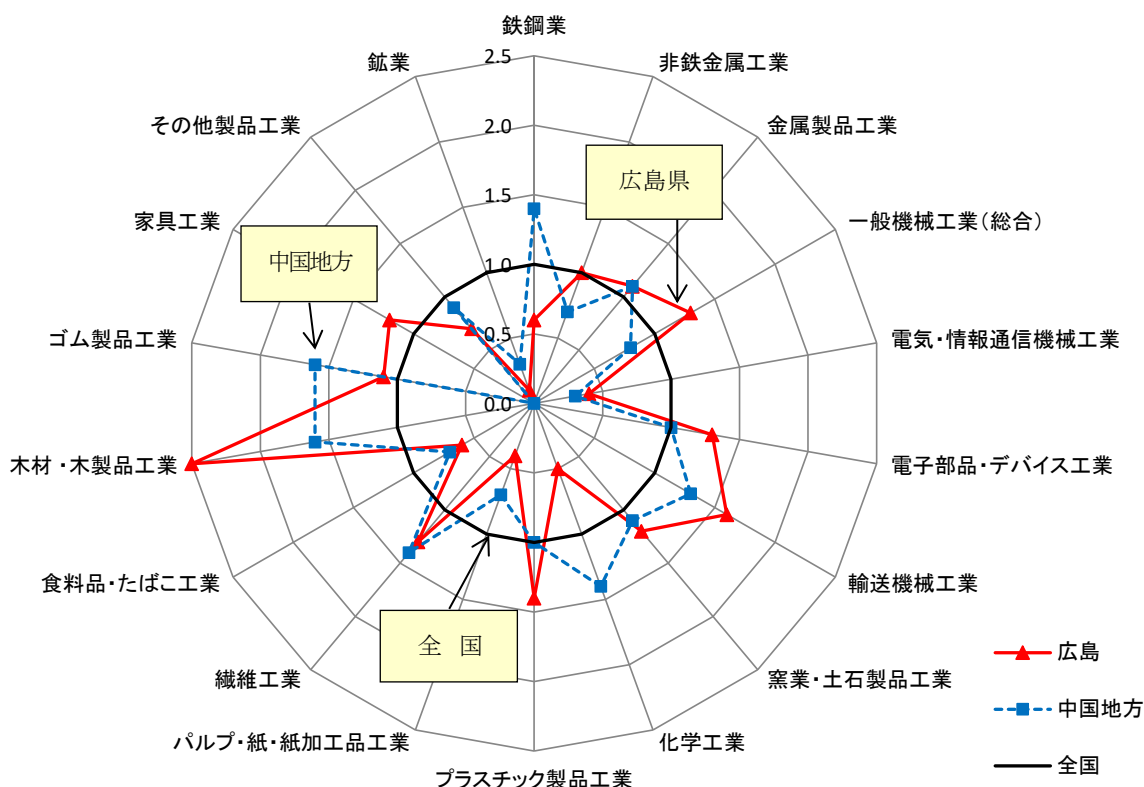
【参考】 生産指数の付加価値額ウェイト(令和2年基準)について

特化係数^(注)を用いて、広島県の業種のウェイトが、全国や中国地方と比較してどの程度の偏りがあるかみると、全国との比較では、木材・木製品工業、輸送機械工業、プラスチック製品工業の特化の度合いが大きい一方、鉱業、電気・情報通信機械工業、パルプ・紙・紙加工品工業の特化の度合いが小さい(図9)。

中国地方との比較では、一般機械工業(総合)、非鉄金属工業、木材・木製品工業の特化の度合いが大きい、化学工業、鉱業、鉄鋼業の特化の度合いが小さい(図9)。

図9 業種における広島県及び中国地方の特化係数

(各特化係数は、令和2年基準の付加価値額ウェイトにより算出)



生産 (付加価値額) ウェイト	鉄鋼業	非鉄金属 工業	金属製品 工業	一般機械 工業(総合)	電気・情報 通信機械 工業	電子部 品・ デバイス 工業	輸送機械 工業	窯業・土石 製品工業	化学工業	プラス チック 製品工業	パルプ・ 紙・ 紙加工 品工業	繊維工業	食料品・ たばこ 工業	木材・ 木製品 工業	ゴム製品 工業	家具工業	その他 製品工業	鉱業
広島	196.1	248.8	511.5	1887.0	310.3	750.5	2415.4	410.6	632.6	673.6	99.6	200.2	888.7	231.0	157.6	69.8	314.9	1.8
中国地方	462.4	165.7	475.8	1208.3	268.8	596.8	1948.7	398.4	1732.1	452.9	156.1	208.0	1003.5	154.9	215.5	0.0	406.8	4.6
全国	341.7	254.8	452.5	1451.9	860.8	585.0	1502.4	352.8	1233.0	464.7	236.5	150.1	1377.9	94.0	137.6	59.1	428.7	16.5

(注)特化係数 = 各地域の構成比 ÷ 全国の構成比

特化係数が1を超えると、その地域において、その業種の構成比が全国平均よりも相対的に高いことを表し、特化係数が1を下回ると、その地域において、その業種の構成比が全国平均よりも相対的に低いことを表す。

参考 広島県、中国地方及び全国の生産指数

(令和2年平均=100)

年・期・月	広島県				中国地方				全国			
	季節調整 済指数	前月(期) 比	原指数	前年(同 月期)比	季節調整 済指数	前月(期) 比	原指数	前年(同 月期)比	季節調整 済指数	前月(期) 比	原指数	前年(同 月期)比
令和 5年			107.3	▲ 1.6			106.7	▲ 0.9			103.9	▲ 1.3
6年			104.8	▲ 2.3			104.3	▲ 2.2			101.2	▲ 2.6
7年			105.5	0.7			100.5	▲ 3.6			100.9	▲ 0.3
令和 5年Ⅰ期	104.2	▲ 7.1	105.9	▲ 3.8	105.0	▲ 3.0	106.4	▲ 1.9	103.5	▲ 1.7	104.0	▲ 1.3
Ⅱ期	107.6	3.3	105.2	2.6	107.1	2.0	104.4	0.4	104.8	1.3	102.4	0.9
Ⅲ期	108.0	0.4	106.7	▲ 3.4	107.1	0.0	106.1	▲ 1.9	103.3	▲ 1.4	102.7	▲ 3.9
Ⅳ期	108.8	0.7	111.2	▲ 1.8	107.4	0.3	109.9	▲ 0.3	104.4	1.1	106.5	▲ 0.7
6年Ⅰ期	106.1	▲ 2.5	105.7	▲ 0.2	102.2	▲ 4.8	102.5	▲ 3.7	99.0	▲ 5.2	99.9	▲ 3.9
Ⅱ期	108.3	2.1	106.0	0.8	105.6	3.3	103.0	▲ 1.3	101.1	2.1	99.0	▲ 3.3
Ⅲ期	102.9	▲ 5.0	102.3	▲ 4.1	104.9	▲ 0.7	104.8	▲ 1.2	101.4	0.3	100.9	▲ 1.8
Ⅳ期	101.4	▲ 1.5	105.2	▲ 5.4	102.7	▲ 2.1	106.8	▲ 2.8	101.8	0.4	104.9	▲ 1.5
7年Ⅰ期	103.2	1.8	103.2	▲ 2.4	102.5	▲ 0.2	101.0	▲ 1.5	101.8	0.0	100.6	0.7
Ⅱ期	107.8	4.5	105.4	▲ 0.6	101.6	▲ 0.9	99.1	▲ 3.8	101.3	▲ 0.5	99.0	0.0
Ⅲ期	104.5	▲ 3.1	103.4	1.1	97.4	▲ 4.1	97.0	▲ 7.4	100.2	▲ 1.1	100.2	▲ 0.7
Ⅳ期	107.0	2.4	110.2	4.8	101.0	3.7	105.1	▲ 1.6	100.5	0.3	103.8	▲ 1.0
令和 5年1月	102.7	▲ 5.3	98.0	▲ 6.0	104.6	▲ 2.9	101.4	▲ 3.2	101.1	▲ 3.6	93.8	▲ 3.0
2月	103.8	1.1	100.9	▲ 4.1	104.3	▲ 0.3	100.7	▲ 2.3	104.5	3.4	100.9	▲ 0.5
3月	106.1	2.2	118.9	▲ 1.5	106.2	1.8	117.1	▲ 0.4	104.9	0.4	117.3	▲ 0.8
4月	108.8	2.5	106.8	10.3	109.6	3.2	107.6	5.8	105.2	0.3	102.5	▲ 0.8
5月	106.5	▲ 2.1	95.9	0.6	106.6	▲ 2.7	99.3	0.6	104.1	▲ 1.0	96.6	4.1
6月	107.6	1.0	112.9	▲ 2.3	105.1	▲ 1.4	106.3	▲ 4.7	105.0	0.9	108.2	▲ 0.1
7月	108.1	0.5	110.2	▲ 1.6	106.1	1.0	107.6	▲ 3.7	103.5	▲ 1.4	105.1	▲ 2.6
8月	106.8	▲ 1.2	98.2	▲ 5.8	107.7	1.5	102.2	▲ 0.9	103.1	▲ 0.4	96.1	▲ 4.7
9月	109.1	2.2	111.8	▲ 2.9	107.5	▲ 0.2	108.6	▲ 0.7	103.2	0.1	107.0	▲ 4.5
10月	109.6	0.5	112.4	▲ 3.4	106.0	▲ 1.4	107.3	▲ 1.8	104.4	1.2	106.3	0.9
11月	107.8	▲ 1.6	111.9	▲ 1.6	108.9	2.7	111.5	2.6	103.8	▲ 0.6	106.9	▲ 1.6
12月	109.0	1.1	109.3	▲ 0.3	107.2	▲ 1.6	111.0	▲ 1.5	105.0	1.2	106.4	▲ 1.1
令和 6年1月	101.8	▲ 6.6	96.5	▲ 1.5	103.3	▲ 3.6	100.2	▲ 1.2	97.7	▲ 7.0	92.4	▲ 1.5
2月	110.0	8.1	106.8	5.8	103.8	0.5	102.5	1.8	98.0	0.3	97.2	▲ 3.7
3月	106.5	▲ 3.2	113.9	▲ 4.2	99.6	▲ 4.0	104.9	▲ 10.4	101.4	3.5	110.0	▲ 6.2
4月	106.4	▲ 0.1	107.7	0.8	104.9	5.3	104.7	▲ 2.7	100.8	▲ 0.6	100.5	▲ 2.0
5月	113.6	6.8	104.8	9.3	106.7	1.7	101.7	2.4	101.9	1.1	97.3	0.7
6月	104.8	▲ 7.7	105.4	▲ 6.6	105.2	▲ 1.4	102.6	▲ 3.5	100.7	▲ 1.2	99.3	▲ 8.2
7月	105.9	1.0	113.5	3.0	105.4	0.2	111.5	3.6	102.5	1.8	107.8	2.6
8月	100.3	▲ 5.3	89.5	▲ 8.9	104.2	▲ 1.1	97.5	▲ 4.6	100.5	▲ 2.0	91.4	▲ 4.9
9月	102.4	2.1	103.8	▲ 7.2	105.1	0.9	105.5	▲ 2.9	101.2	0.7	103.6	▲ 3.2
10月	102.1	▲ 0.3	108.4	▲ 3.6	104.2	▲ 0.9	108.3	0.9	103.0	1.8	107.2	0.8
11月	100.8	▲ 1.3	103.5	▲ 7.5	101.8	▲ 2.3	104.5	▲ 6.3	101.3	▲ 1.7	103.4	▲ 3.3
12月	101.3	0.5	103.6	▲ 5.2	102.0	0.2	107.5	▲ 3.2	101.0	▲ 0.3	104.1	▲ 2.2
令和 7年1月	102.9	1.6	98.6	2.2	102.7	0.7	99.3	▲ 0.9	101.9	0.9	94.3	2.1
2月	104.5	1.6	101.8	▲ 4.7	104.4	1.7	98.7	▲ 3.7	102.0	0.1	97.5	0.3
3月	102.3	▲ 2.1	109.2	▲ 4.1	100.3	▲ 3.9	105.0	0.1	101.4	▲ 0.6	110.0	0.0
4月	103.8	1.5	103.6	▲ 3.8	100.1	▲ 0.2	99.6	▲ 4.9	100.5	▲ 0.9	99.8	▲ 0.7
5月	114.6	10.4	104.9	0.1	104.4	4.3	98.0	▲ 3.6	101.8	1.3	94.5	▲ 2.9
6月	105.1	▲ 8.3	107.6	2.1	100.4	▲ 3.8	99.8	▲ 2.7	101.5	▲ 0.3	102.7	3.4
7月	101.7	▲ 3.2	108.3	▲ 4.6	95.0	▲ 5.4	99.9	▲ 10.4	100.5	▲ 1.0	106.2	▲ 1.5
8月	107.3	5.5	94.5	5.6	97.8	2.9	89.3	▲ 8.4	99.2	▲ 1.3	88.4	▲ 3.3
9月	104.5	▲ 2.6	107.3	3.4	99.3	1.5	101.7	▲ 3.6	101.0	1.8	105.9	2.2
10月	106.7	2.1	113.1	4.3	101.9	2.6	106.7	▲ 1.5	101.6	0.6	107.3	0.1
11月	108.4	1.6	107.7	4.1	102.0	0.1	102.2	▲ 2.2	99.6	▲ 2.0	99.1	▲ 4.2
12月	105.8	▲ 2.4	109.7	5.9	99.2	▲ 2.7	106.3	▲ 1.1	100.2	0.6	105.0	0.9

出所：中国地方 … 「中国地域鉱工業生産動向」（経済産業省中国経済産業局）

全 国 … 「鉱工業生産・出荷・在庫指数」（経済産業省）